

平成29年度 第4回 知立市国民健康保険運営協議会 議事概要

1 日 時 平成29年12月15日（金）午後1時45分から2時50分

2 場 所 知立市役所 第2、第3議室

3 出席委員

公益代表 岩堀 行雄、飯田 善賢、林 健一、毛受 秀之

医療機関代表 神谷 雅人、山田 善也

被保険者代表 神谷 信懺、河村 京子、鈴木 民樹、高木 清

事務局職員 中村 明広、寺田 秀彦、川端 淳嗣、神谷 泰光

4 議 題

(1) 特定健康診査等実施計画およびデータヘルス計画について

(2) 国民健康保険税の改正について

(3) その他

5 概 要

(1) 議題(1)について

特定健康診査等実施計画およびデータヘルス計画の前回からの変更点および今後の予定について、事務局より説明した。その後、委員から意見を求めた。

12月26日からパブリックコメントを実施する。意見が寄せられれば、次回の運営協議会で報告する。

【主な意見・質疑応答】

委 員 ジェネリック医薬品の使用を、市はどうしたいのか。

事務局 医療費が比較的安価なため、利用を呼び掛けていきたい。

委 員 医療機関窓口では、理解をせずにジェネリック希望カードを出される人が多いように見受けられる。医療機関は、希望に合わせて揃える必要があり、今後使用比率は高くなると思う。しかし、ジェネリック医薬品には問題点が全くないわけではなく、同じ成分でもジェネリック医薬品に切り替えたときに副作用がでることもある。70%を目標にと医師会等からの目標もあるので、7割を超えるよう努力している。

委 員 特定健診の受診率は何故このように低い数字なのか。社会保険加入者は、会社でできなければ外部で受診するように求められるが。

事務局 会社に勤めている方は、必ず受けなさいというルールがあるのかと。退職後に国保に加入した方、特に65歳以上は半数以上受診している。60歳以下、例えば自営業の方は、なかなか時間が取れないから健診にいかないという方もいると思う。

委 員 大きな違いは、会社は1人1人を管理している。国保はそこまでできないので、受診率に差はあると思う。

委員 健診に行くと半日かかり、結果を聞く必要もある。しかし、1度受診すれば、必要なことがわかると思う。PR していくことしか手がないかなと思う。

委員 日曜日にやってもらえるとよいと思う。

事務局 6月から10月まで医療機関で実施し、12月初旬に保健センターで集団検診を行っている。医療機関でお願いしているのはかかりつけ医を持っていただきたいことが理由で、その補完として集団検診を行っている。

委員 メタボの科学的根拠は。

委員 該当者の多くは、血液の脂質値異常があり、動脈硬化を引き起こす原因となる。そして、脳卒中・心筋梗塞のリスクが高くなる。元をたどると肥満から始まるので、肥満対策をし、医療の前の時点で改善を始めようという考え方。

委員 腹囲 85 cmの根拠は。

委員 統計学的なもの。ちなみに、血液検査の数値が基準に入っていれば良いという訳ではなく、その数値の意味を医療機関で聞いてもらうことが必要。ただ結果を配って終わりではなく、医療機関で聞くことができることが知立市の特定健診の良い点だと思う。

議題（2）について

前回の変更案に基づいて、モデル世帯毎に国民健康保険税が今年度と来年度でどのように変わるかを説明した。

【主な意見・質疑応答】

委員 税率はどのように決めるのか。

事務局 必要額を「所得割」分と「均等割・平等割」分に分け、「所得割分」は今年度の課税所得で、「均等割・平等割」分は按分したうえで被保険者数・世帯数で、それぞれ割って算出したものが税率となる。前回示した3.7%上昇の案で算定した。本算定でも概ねこの水準だと思う。

委員 被保険者に負担を求めるなら、今までの市の繰入金より減ってしまっ
ては説明がつかないのではないか。

事務局 28年度決算で、法定外その他として4,900万円余の繰出金があった。これから財政当局と折衝をするが、収納率差分として示している3,200万円余の額を追加することになるかと思う。

委員 制度改正の初年度でもあり、市民にたくさん負担してもらうなら、市も努力しているので、被保険者の皆さんもどうかよろしく願います、ということが必要ではないか。